
私（僕）と性転換と召喚獣

まり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私（僕）と性転換と召喚獣

【Nコード】

N2614BA

【作者名】

まり

【あらすじ】

朝起きたら違和感が…… その正体はなんと「僕が女!？」 性転換した明久の新しい性生活はどうなる!?

朝の惨劇（前書き）

Dクラス戦後の話です

朝の惨劇

「ふああ おはよう……」

朝の日差しが僕の顔に当たっていたので、すぐに起きることができた。でも正直言うとまだ眠い。それでもベットからはいでて重い体を引きずりながら洗面台へ向かう。

しかし、ここである疑問が生じた。胸が床に擦れて痛い。おかしいなあ、上半身は起こして歩伏前進してるから擦れるわけがないのに違和感を感じながらも洗面台にたどり着き鏡の前で寝癖を直す。ここでさらに疑問が生じた。髪が異様にのびてないか？しかも艶がある。鏡で見てもまるで女の子になったようにしか見えない。これは一体……

「……まあ深いことは考えずに朝食をとろう。今日は贅沢に砂糖もつけようかな」

朝食をとり終わってまた鏡を見る。これだけ長い髪にはなったことないからなあ。後ろで束ねてポニーテールにしてみよう。僕の好きな髪型だしね。そして髪を束ねること数分。

「できた。意外と似合ってるかも」

ハンサムな顔はどんな髪型でも似合ってる前にテレビでやってたよ。うな。つまり僕はハンサムってことか。

「あっお弁当作るの忘れてた」

今日はお弁当無しは正直キツイ 昨日出た新作のゲームを買ったから今懐が寒い 購買でパンも買えないだろう そうなったら良くて昼食抜き、悪くてあの世いき また姫路さんの料理の実験台にならなきゃいけないかも そうなったら確実に死ぬ 気持ちは嬉しいんだけどなあ、何で科学薬品を入れるのかな？

「ついでに今日のお弁当はアスパラのベーコン巻きに出汁をちゃんとした卵焼き、冷凍の春雨のラインナップ」

ぬう自分でも美味しそうに感じる 和洋中が揃ったお弁当ができた 時間には余裕があるけど今日は早めに学校にいこうかな

そう思っただけ自分の部屋へいき着替え始める そして制服に着替えるときに僕の胸に大きな実りがあるのが見えた あれ？昨日の夜にはなかったよね？

興味本意で握ってみる

「あつ ひゃうう」

えっ？ 今の僕の声？ すごく高くて色っぽかったけど！？ 気のせいだよな？ さらに今度は揉んでみた

「あつ ああん んっ んん！」

あきらかに僕が声を発していた

ちょっと待てい！ 何で僕の声なんだ！ 僕はこんな『禁止事項』が胸を【放送禁止】な声は出さないぞ！ よしっ冷静になるんだ冷静に 今僕が疑問に思ってることを整理してみよう

- ・歩伏前進をしたら胸が痛い
- ・髪が異様にのびている
- ・胸に実りがある
- ・声が高い

.....

わからない.....

どうしよう.....

「自分の胸を確認したらどうだ？」

今のは悪魔か？ 普通は悪魔の言うことは聞かないもんだが、それしか方法はない むしろ名案だ
意を決したら即行動！ シャツを脱いで胸をみる
そこには姫路さんほどではないものの、しっかりとしたタワワができていた

「現実には厳しいものだな.....」

悪魔の声でハツとする 現実だと？ なにをいうか、これは幻覚だ
僕にタワワなどない

「なら目を擦ってもう一度みたらどうだ？」

おもしろい それでもしまだタワワがあったら認めようじゃないか
僕は目を何度も何度も擦りバツと胸をみる そこにはやはりさつきと変わらぬタワワがあった
えーと、つまりこれは.....？

「女になつたか…… あわれ」

「嫌だああああああああああああ！」

女になつちやつたよ 駄目だ、もうお婿にいけない……

いやつまだだ これは一種のホルモンバランスが崩れたただけだ 女性ホルモンが多くてただけなんだ なるほどそうだったのか！

「明久にしては賢い考えだな なら下の方を見て見るよ」

一言余計だ！ ん？ 下？ ……なるほど、あれがついているかついてないかで確認しろと？ バカめ！ 僕は男なんだ！ もちろんあるに決まつてる そうなればホルモン説に決まりだ 見よ！ ちゃんとついてー

バツ

ーーついて……ない

ここまできたら認めようじゃないか 僕は女になつたと……

「テテテテツ テテツ テツテー

明久は性転換した」

テメエ悪魔！ ドラクエのレベルアップのBGMであたかもいいことのように言っんじゃないやねえ！

「あっもう時間だ」

何っ！ バカな！ もう登校時間だと！ しかたがない この件は
学校で考えるか とりあえず男性物の制服は胸がキツイから姉さん
の昔使ってたセーラー服を着よう 着替えたらお弁当をもってダッ
シユだ

性轉換した僕の新しい性活が始まった

朝の惨劇（後書き）

三作目

二作目もまだ上手くいってないのに……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2614ba/>

私（僕）と性転換と召喚獣

2012年1月6日18時46分発行